



**プロの音色にうっとり**

12月2日、高知工科大学で、第2回香美市音楽祭が開催されました。

これは、ふるさと納税を基金とした『まちづくり応援基金事業』で行われたもので、鏡野中学校出身で国内有数のオーケストラで活躍中の4人が出演。本格的なクラシック曲から本邦初演の楽曲などを演奏し、約600人の市民が美しい音色を堪能しました。

アンコールでは、後輩の鏡野中吹奏楽部も演奏に加わり、会場は一体感に包まれました。来場者からは、「地元出身のプロによる生演奏を身近で聴き、元気ももらいました」などの声が聞かれ、大好評でした。

**美良布の手作りマルシェ**

12月2日、集落活動センター美良布の交流スペースで、びらふマルシェが開催されました。

これは、集落活動センター美良布の活動の中で生まれた集まり『むすぶ』が主催したもので、人と人をつなぎ、世代をつなぎ、地域をつなごうと、今回初めて開催されたイベントです。

当日は、ハンドメイドの布小物やアクセサリワークショップ、多肉植物の寄せ植えなど、いろいろな種類の店が並び、温かな雰囲気の中、人と人との交流を深めていました。



▲これからも不定期で年3～4回ほど開催予定！

**集結！香美市の防災士**

1月12日、香美市役所で、香美市防災士の集いが開催されました。

これは、市内在住の防災士の方を対象に行われたものです。当日は45人が参加し、防災士の役割について再度確認した後、グループに分かれて意見交換を行いました。これまでの活動事例や、これから取り組みたいことなどを話し合う中で、防災士同士のつながりやスキルアップ研修などを求める声が上がっていました。

集いの中での意見を踏まえ、組織化なども含めて、今後の活動を検討することになりました。



▲真剣な表情で意見を交換。いざという時に備える



**人形劇団 とんとんびょうし**

12月2日、香北町の基幹集落センターで、人形劇団とんとんびょうしによる歳末発表会が開催されました。

これは、地域で愛されながら活動を続ける劇団の結成25周年を記念して行われたものです。当日は、人形劇『三枚のお札』『さるかにがっせん』の上演のほか、紙芝居や工作体験、おたのしみ抽選会なども行われ、来場した人たちを楽しませていました。

最前列に陣取った子どもたちは、ベテラン劇団員の熱演を食い入るように見つめ、時に笑い声を上げながら、温かなお話の世界に入り込んでいました。



**鏡野中の新しい体育施設が完成**

1月14日、プール・武道場・卓球場などを集約した鏡野中学校合築棟の落成式典が行われました。

当日は、オープンを記念したテープカットなどが行われ、合築棟の完成を祝いました。

武道場および卓球場は、学校教育に支障のない範囲で、右のとおり一般開放されます。

また、プール用水を飲料水に浄化する設備を備え、南海トラフ地震等の災害に備えた避難施設としての利用も考えられています。

**鏡野中学校合築棟の一般開放 ※要事前申請**

- 【対象】 香美市民
- 【時間】 学校が休みの日…8時30分～22時  
休みではない日…19時～22時
- 【料金】 武道場 220円(半面/時間)  
" 430円(全面/時間)  
卓球場 220円(全面/時間)

【問い合わせ・申込先】  
生涯学習振興課スポーツ班 ☎53-1082

**積丹町の子どもたちと交流**

1月10日から13日にかけて、北海道積丹町から、小学生11人が香美市を訪れました。

子どもたちは、フラフ作り体験や龍河洞探検、アンパンマンミュージアムなどを巡り、香美市での滞在を満喫しました。

また舟入小学校では、お互いの地域紹介や給食などを通じて交流を深めました。宿泊は市内の小学生の自宅にホームステイをし、休日にはいちご狩りに行くなど、楽しく過ごしました。

別れのときには、お互いの姿が見えなくなるまで手を振り、名残を惜しんでいました。



▲友情を育み、香美市と積丹町の絆を深めていく



**目指せピットリ!**

1月27日、土佐山田スタジアム周辺で、第13回香美市子ども会連合会ピットリタイムマラソン大会が開催されました。

当日は肌寒い冬空の下でしたが、参加した54人の子どもたちは、それぞれが申告したタイムを目指して元気いっぱい走りまわりました。結果は右のとおりです。

**【大会結果】**

- 1位 尾立陽基(楠目小) タイム誤差2秒
- 2位 由比湊人(楠目小) タイム誤差4秒
- 3位 石川蒼空(楠目小) タイム誤差5秒
- 3位 福永歩夢(楠目小) タイム誤差5秒